

報告日 令和8年1月30日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	嘉麻市			代表者名	赤間 幸弘
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル戦略課	連絡先電話番号	0948-42-7420
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	山本 匠貴	連絡先E-mail	
住所	820-0292 福岡県嘉麻市1180番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタルに関する出前講座
概要	市内のデジタル化促進のため、出前講座等のプログラム構築などについて支援いただくもの。		
支援を求める分野	デジタルデバイド対策		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	724	令和8年1月25日	講演	実地
	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和7年12月10日	支援・助言&講演(オンライン)	12時30分	15時00分	
				活動時間 (分)	150
2-2. 派遣場所	会場名	山田生涯学習館		最寄駅	桂川駅
	所在地	嘉麻市上山田1347番地10		最寄駅からの交通手段	市バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようにと ころがよかったです等詳細に)	デジタルデバイド対策として、1月25日開催のデジタルまつりイベント会場にてデジタルに関する講演を実施していただい た。 スマホの活用事例について、身近なもので病院・薬局の受付でのマイナ保険証としての利用方法や、近年話題の生成AIを絡め ながら受講者の興味を引きやすい内容で、わかりやすく説明いただいた。 身の回りで使われているスマホの活用事例を基に説明いただいたことや、資料中に動画での説明を加えていただいたことで利 用イメージが湧きやすく、来場者にとって理解しやすい内容となったと思われる。
アドバイザー への要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】		合計人数	26人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	26		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	デジタルデバイド対策として、高齢者等を中心とした方に対して、デジタル化への関心を高めるため に、スマホの電話以外の用途に興味を持つもらうことに困難さを感じている。スマホで出来ることをどのようにPRし、興味を持つもらうかが課題である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	健康保険証や生成AIなどスマホの活用方法を知ることで、スマホ機器そのものに興味を持ってもら い、スマホを活用したオンライン申請やコンビニ交付の利用などの行政サービスにも繋げていくこ と。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講演会【スマホは「魔法の杖」になる。～生成AIでつながる新しい暮らし～】マイナ保険証などの身近なデジタル技術の説明を通して、スマホの幅広い活用方法をご説明いただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	受講者からは生成AIを積極的に使ってみたいとの声もあり、スマホを利用するきっかけづくりになったと感じている。受講者の中には年配の方もあり、マイナ保険証の話もあったことでより身近に感じてもらい、新たなスマホの活用方法に興味を持ってもらえた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 アンケートにて「自分の持っているスマホの新しい活用方法について知ることが出来て良かった」「生成AIを難しく感じていたが簡単そうなので使ってみたい」等の意見があった。また、講演会終了後、イベント会場で同時に開催したスマホ相談会にも多くの人が訪れており、一定の効果があった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は身近なスマホ活用方法の講演会であったが、ステップアップとして、オンライン申請やコンビニ交付等の行政サービスの啓発を継続してしていく必要性を感じている。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果にあるように、スマホの新しい活用方法について気づくことは、デジタル化への関心を高める原動力となると思われるので、講演会により効果があったと感じている。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	スマホなどの通信機器を保有することで得られる環境を、誰もが想像しやすいよう情報発信・デジタル化啓発を続けていく。その結果、誰もが必要な情報を容易に取りに行き、行政サービスを受けられる環境を目指す。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

